

主な記事

- 2** 小児医療費助成制度・児童手当が変わります
- 4 5** 大規模災害から身を守る
- 8** 眞野秀成選手 パリ2024オリンピックに出場



共に助け合う

高部屋地区で風水害対策訓練を行いました



6月2日、土砂災害や洪水などに備え、高部屋小学校で風水害対策訓練を行い、地元住民や関係機関など約150人が参加しました。県平塚土木事務所職員による防災講話や避難所用パーテーションなどの設営訓練を協力して行ったほか、高齢者施設との避難情報伝達訓練を行い、「共助」の大切さを学びました。

秋にかけて、台風や大雨などによる風水害が多く発生します。避難先・方法を事前に確認し、災害時に備えましょう。
 担危機管理課 電話94-4865

訓練から学び、考える

災害発生時に適切な行動を取るためには、訓練を積むことがとても重要だと思います。今回の防災訓練のように、実際に体験することで学ぶことは多くあります。また、地区全体で訓練を行うことで、他の自治会の取り組みを知り、意見交換を通じ、より良い対応策が見えてくることもあります。一人一人が災害について学ぶことで、地域一丸となって災害対策ができるので、より多くの人に訓練に参加してもらえると嬉しいです。

峰岸上自治会では、災害時に利用させていただける井戸が10カ所あります。能登半島地震が起きた際、水が使えず生活に大きな影響が出ていると報道されていました。災害が起きたときに井戸は使えるのか、飲料水にできるのか、ポンプはあるのか。被災地の現状を見て、井戸の点検に必要性を感じたため、今年度水質検査を含めた点検を行います。

日ごろから地域で協力し、訓練や点検を欠かさずに行うこと



峰岸上自治会 自治会長
 小澤和博さん(73歳・上粕屋)

が、いざというときに、わたしたちの身を守ることにつながると思います。